

外交記録公開推進委員会の成果及び今後の課題

平成26年6月
外交記録公開推進委員会

1 成果

- (1) 平成22年5月の委員会発足以来, これまでに11回の会合を開催。17,108冊の外交記録ファイルに移管・公開(平成26年5月末まで)。
- (2) 委員会発足後, 通常審査を導入するなど移管・公開を加速化させた結果, 加速化前の約2倍のペースで移管・公開を実施。
 - 移管・公開ファイル冊数:
平成22年5月～平成24年5月 6,067冊
→平成24年6月～平成26年5月 11,041冊(約2倍)
- (3) 外交史料館における戦後期史料の閲覧者数, 閲覧利用冊数, 利用請求数が増加。
 - 戦後期史料閲覧者数: 平成22年度852人→平成23年度1,089人→平成24年度1,146人→平成25年度1,336人(前年比16%増)
平成25年度は, 外交史料館開館後初めて戦後期史料の閲覧者数が戦前期史料の閲覧者数を上回る。
 - 戦後期史料閲覧利用冊数: 平成22年度8,067冊→平成23年度8,522冊→平成24年度8,362冊→平成25年度9,210冊(前年比10%増)
 - 利用請求数: 平成23年度155件(357冊)→平成24年度202件(538冊)→平成25年度288件(862冊)(前年比: 件数85%増, 冊数241%増)

外交記録公開推進委員会の成果及び今後の課題

(4) 外交記録公開推進委員会の議論を踏まえた取り組み

- 外交記録公開を通じたより積極的な情報発信
- 外交記録文書の外務省内における適切な共有・活用

2 今後の課題

(1) 更なる利用者の利便性を考慮した公開の実施

- インターネットでの史料検索システム整備
- 移管済ファイルの件名目録の明確・具体化
- 利用決定済の公開ファイルの広報等

(2) 移管・公開ペースの維持と、増加する利用請求への対応